人類の出現と文明

名前

問1　石の柱に刻まれた「ハンムラビ法典」には、くさび形文字で「目には目を、歯には歯を」という原則が記されている。このように、法律を文字として記録し、公開した目的として最も適切なものはどれか。（2022年 和歌山県公立入試 類似）

1. 裁判の基準を明確にし、広大な領土を統一的なルールで統治するため
2. 文字を読めない民衆のために、刑罰の内容を絵で分かりやすく示すため
3. 他国との貿易において、商品の価格や取引のルールを共通化するため
4. 特定の神官階級にのみ法律を伝え、民衆を秘密裏に支配するため

問2　古代メソポタミア文明において編纂されたハンムラビ法典の歴史的な意義について、当時の社会状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。（2026年 岐阜県公立入試 類似）

1. ナイル川の氾濫を予測する天文学と結びつけ、農業の時期を厳格に管理することで、神の化身としての王の権威を強化しようとした。
2. カースト制度と呼ばれる厳格な身分秩序を法的に正当化し、宗教的な儀礼を遵守させることで、都市の衛生状態を保とうとした。
3. 身分制度を完全に否定し、すべての人々が法の下で平等であることを宣言することで、市民による民主的な政治を実現しようとした。
4. 法を文章化して明示することで、支配者の主観による不公平な裁判を防ぎ、多民族が混在する広大な領土を安定して統治しようとした。

問3　7世紀に成立したイスラム教の教えや特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。（2025年 千葉県公立入試 類似）

1. 孔子が戦乱の世を収めるために、家族の道徳である「仁」や社会の決まりである「礼」を説いている。
2. シャカ（釈迦）がインドで修行の末に悟りを開き、生老病死などの苦しみから逃れる道を説いている。
3. 唯一の神アッラーの前ではすべての信者が平等であると説き、日常生活の細かな規律を定めている。
4. パレスチナでイエスが説き始め、すべての人間を愛する「隣人愛」と神による救済を強調している。

問4　ムハンマドによって開かれたイスラム教の特色や、その後の広がりの背景について述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2024年 愛知県公立入試 類似）

1. スエズ運河を拠点とした海洋貿易の発展により、東南アジアから日本まで直接伝播した。
2. ルイ14世のような絶対王政を支える理論として、ヨーロッパ全域に急速に普及した。
3. 多神教の立場をとり、地域の伝統的な神々の像を寺院に安置することを推奨した。
4. 唯一神アッラーの前では全ての信者が平等であると説き、偶像崇拝を厳しく禁止した。

問5　ナイル川の流域で栄えた古代エジプト文明では、農耕に大きな影響を与える川のはんらん時期を正確に知る必要がありました。そのために天文学が発達しましたが、その結果として作られ、現代の暦の基礎ともなったものはどれですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

1. 時間を60秒、60分で区切るなど、数え方の基礎となった60進法
2. 太陽の動きを基準とし、1年を365日とする太陽暦
3. 農作業の記録をつけるために考案された、粘土板に刻む楔形文字
4. 月の満ち欠けを基準とし、約29.5日を1か月とする太陰暦

問6　日本列島の旧石器時代における人々の生活環境や道具について述べた説明として、最も適切なものはどれか。（2021年 和歌山県公立入試 類似）

1. 大陸から稲作の技術が伝わり、大規模な環濠集落が形成された。
2. 土器を使用して食物を煮るようになり、定住生活が始まった。
3. ナウマンゾウなどの大型の動物を追い、移動しながら生活していた。
4. 表面を磨いて形を整えた磨製石器を使い、木を加工して家を建てた。

問7　日本の旧石器時代における人々の生活様式や文化の特徴について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2017年 群馬県公立入試 類似）

1. 表面に縄目の文様がある土器を使い、貝塚を作るなど同じ場所に長期間定住して生活していた。
2. 大陸から伝わった稲作を行い、収穫した米を蓄えるための高床倉庫や大規模な環濠集落を築いた。
3. 青銅器や鉄器などの金属器を使い始め、身分による貧富の差が生まれ、小国が乱立するようになった。
4. 石を打ち欠いて作った道具を使い、獲物を追って移動しながらテントのような簡易的な住まいで暮らしていた。

問8　日本の歴史における各時代の特徴と資料の記述として、内容が誤っているものはどれですか。（2014年 愛媛県公立入試 類似）

1. 平安時代には、律令国家としての体制を整え、平城京の建設費用をまかなうために和同開珎が鋳造された。
2. 旧石器時代には、ナウマンゾウなどを狩るために、石を打ち砕いて作られた打製石器が使用された。
3. 古墳時代には、有力者の墓の周囲に、家や馬、人物などをかたどった素焼きの土器である埴輪が置かれた。
4. 弥生時代には、大陸から金属器が伝わり、銅鐸などの青銅器が主に祭りの道具として用いられた。

問9　古代ギリシャにおいて、山がちな地形や島々が点在する地理的要因もあり、各地に形成された小規模な独立した政治単位である「都市国家」を何と呼びますか。（2025年 山口県公立入試 類似）

1. 封建領主
2. 帝政
3. 共和政
4. ポリス

問10　7世紀頃の世界情勢において、大国であるビザンツ帝国とササン朝が長年対立した結果、従来の交易路が避けられるようになりました。これに代わる新しい中継貿易のルートとして繁栄し、ムハンマドが活動を始めたアラビア半島の都市はどこですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

1. メッカ
2. ローマ
3. バグダード
4. エルサレム

問11　1492年に製作された現存する世界最古の地球儀には、当時のヨーロッパ人が存在を知らなかった南北アメリカ大陸が描かれていません。この大陸の南部に位置するアンデス山脈を中心に、16世紀前半にスペイン人に滅ぼされるまで独自の石造建築文化を築いた帝国を何といいますか。（2026年 大阪府公立入試 類似）

1. マヤ文明
2. アステカ文明
3. インダス文明
4. インカ帝国

問12　アフリカ大陸の北東部、地中海に注ぐ大河の流域で発展した古代文明について、この大河の名前と、この文明で使われていた文字の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 茨城県公立入試 類似）

1. ナイル川 ― 楔形文字
2. ナイル川 ― 象形文字
3. ティグリス・ユーフラテス川 ― 象形文字
4. ティグリス・ユーフラテス川 ― 楔形文字

問13　日本の縄文時代において製作された「土偶」について、その目的や背景を説明した文として最も適切なものを選びなさい。（2025年 京都府公立入試 類似）

1. 大規模な古墳が造られる中で、亡くなった支配者の権力を象徴し、その死後を守るための副葬品として作られた。
2. 自然の力への畏敬の念を持ち、豊かな収穫やまじない、安産などを祈るための道具として作られた。
3. 大陸から伝わった稲作技術が広まる中で、収穫した稲を保存するための高床倉庫の装飾として作られた。
4. 律令制度のもとで、成人男性が都へ赴いて労働の代わりに納める税の一種として、全国で均一に作られた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 裁判の基準を明確にし、広大な領土を統一的なルールで統治するため	ハンムラビ王は、メソポタミアを統一した際、それまでバラバラだった慣習やルールを「成文法（文字に書かれた法律）」としてまとめました。誰の目にも見える形で法律を提示することで、公平な裁判の基準を示し、王の権威のもとで社会秩序を安定させる狙いがありました。
問2	答え 4 法を文章化して明示することで、支配者の主観による不公平な裁判を防ぎ、多民族が混在する広大な領土を安定して統治しようとした。	メソポタミアは周囲に遮るものがない開かれた地形で、多くの民族が絶えず侵入・交代する地域でした。異なる文化や習慣を持つ人々を一箇所にまとめて統治するためには、共通のルールを文章化（成文法化）し、王の権威のもとで統一的な裁判を行う必要がありました。これにより、社会の秩序を保ち、国家としてのまとまりを強化することに成功しました。他の選択肢は、ギリシャの民主政、エジプト文明、インダス文明の特徴が混ざっています。
問3	答え 3 唯一の神アッラーの前ではすべての信者が平等であると説き、日常生活の細かな規律を定めている。	イスラム教はムハンマドによって創始され、神の前での平等を説きました。また、信仰の告白、礼拝、喜捨、断食、巡礼という「五行」に代表されるように、生活と宗教が密接に結びついているのが特徴です。他の選択肢は、順にキリスト教、仏教、儒教の説明です。
問4	答え 4 唯一神アッラーの前では全ての信者が平等であると説き、偶像崇拝を厳しく禁止した。	イスラム教は、神の前での平等を説いたため、身分や部族の対立を超えて多くの人々に受け入れられました。また、目に見える形を持つものを神として崇拝することを「偶像崇拝」として厳しく禁じているのが、仏教や当時のキリスト教などと比較した際の大きな特徴です。
問5	答え 2 太陽の動きを基準とし、1年を365日とする太陽暦	エジプト文明は「ナイルのたまもの」と呼ばれるほど、川のはんらんがもたらす肥沃な土壌に依存していました。はんらんの周期を予測することは、農作業の計画を立てる上で国家の死活問題であったため、天文学が高度に発達し、太陽に基づいた暦が誕生しました。なお、太陰暦や60進法、楔形文字はメソポタミア文明の主要な特徴です。
問6	答え 3 ナウマンゾウなどの大型の動物を追い、移動しながら生活していた。	旧石器時代は氷河時代とも重なり、日本列島が大陸と陸続きになる時期がありました。当時の人々は打製石器を用い、食料となるナウマンゾウやヘラジカなどの大型動物を追って移動を繰り返す生活を送っていました。土器の使用や定住生活が始まるのは、気候が温暖になった後の縄文時代からです。
問7	答え 4 石を打ち欠いて作った道具を使い、獲物を追って移動しながらテントのような簡易的な住まいで暮らしていた。	旧石器時代はまだ土器が発明されておらず、人々はマンモスやナウマンゾウなどの大型動物を狩るために、移動を繰り返す生活を送っていました。そのため、縄文時代のような定住性の高い竪穴住居ではなく、移動に適した仮住まいを利用していたと考えられています。他の選択肢は、縄文時代（土器・定住）、弥生時代（稲作・金属器・国）の特徴です。
問8	答え 1 平安時代には、律令国家としての体制を整え、平城京の建設費用をまかなうために和同開珎が鋳造された。	和同開珎が鋳造されたのは、平安時代ではなく奈良時代（708年）のことです。当時の政府は、平城京への遷都や建設の費用に充てる目的、そして貨幣を流通させることで国家の権威を示す目的でこれを発行しました。旧石器時代の打製石器、弥生時代の青銅器、古墳時代の埴輪に関する記述は、それぞれの時代の特色を正しく表しています。
問9	答え 4 ポリス	古代ギリシャでは、平野が狭く山地が多いという地形的特徴から、一つの大きな国家にまとまるのではなく、アテネやスパルタのような「ポリス」と呼ばれる独立した都市国家が多数誕生しました。各ポリスは城壁で囲まれた市街地と農地を持ち、独自の軍隊や法律を備えていました。
問10	答え 1 メッカ	当時のビザンツ帝国とササン朝の戦争を避けるため、商人はアラビア半島を経由するルートを多用するようになりました。その中継地点として繁栄したメッカは、イスラム教の創始者ムハンマドの出身地であり、現在もイスラム教の最も重要な聖地とされています。
問11	答え 4 インカ帝国	南アメリカ大陸のアンデス山脈沿いに広まったこの帝国は、文字を持たない代わりに「キープ」と呼ばれる紐の結び目で情報を記録し、マチュピチュのような高地都市や精巧な石造建築を発達させました。1492年の地球儀に描かれていないのは、コロンブスの到達以前でヨーロッパにその存在が知られていなかったためですが、16世紀にピサロ率いるスペイン人によって征服されました。
問12	答え 2 ナイル川 — 象形文字	アフリカ北東部を流れるナイル川の定期的な氾濫は肥沃な土壌をもたらし、エジプト文明の発展を支えました。この文明では、王（ファラオ）の権威を誇示したり記録を残したりするために、ヒエログリフとも呼ばれる「象形文字」が使われました。楔形文字は、メソポタミア文明で使用された文字です。
問13	答え 2 自然の力への畏敬の念を持ち、豊かな収穫やまじない、安産などを祈るための道具として作られた。	縄文時代の人々は、狩猟や採集による生活を営む中で、あらゆる自然物に霊魂が宿ると考えるアニミズム的な世界観を持っていました。土偶は、そうした信仰の中で、大地の豊穣や子孫繁栄、病気やけがの治癒を祈るための呪術的な対象として用いられました。選択肢にある「古墳の副葬品」は古墳時代の埴輪などの説明であり、「律令制度の税」は飛鳥・奈良時代の「庸」などの説明にあたります。